

1973年

数年程度の約束が...51年
いまでも続く 横須賀母港

米空母母港化**51周年**抗議！

原子力空母ジョージ・ワシントンの
配備撤回を求める**10.4全国集会**

10.4(金)18:00～

横須賀市・ヴェルニー公園

JR横須賀線「横須賀駅」下車徒歩2分

京浜急行「汐入駅」下車徒歩2分



主催 神奈川平和運動センター・三浦半島地区労センター
共催 フォーラム平和・人権・環境、全国基地問題ネットワーク
平和センター関東ブロック連絡会議

連綿と続く神奈川の闘い

【機能強化がすすむ横須賀基地】

1973年横須賀に米空母が配備されました。

当時、数年程度と言われた「空母の母港」は、51年（1973年10月ミッドウェー、91年9月インディペンデンス、98年8月キティホーク、2008年9月ジョージ・ワシントン、2015年10月ロナルド・レーガン）が経過します。

2008年からは原子力空母となり、8月1日にアメリカ海軍基地サンディエゴで再びジョージ・ワシントンに交代し、今後入港する予定となっています。



入港抗議集会(88年横須賀・観音崎)



母港化反対集会(86年横須賀)

米海軍横須賀基地は、空母を中心とした米海軍第7艦隊の基地として、最新鋭のBMD(弾道ミサイル防衛)対応艦を擁し、その能力は極めて高く世界有数の巨大軍港・出撃基地となっています。

米国外で「唯一の空母の母港」が永続化した状況のなかで、空母原子炉の危険性は依然として隠ぺいされたまま、住民の安全を置き去りにして出入港が繰り返されています。

【厚木基地周辺にも大きな被害】

米海軍横須賀基地が本格的機能を備え始めると併行して、厚木基地の航空機騒音は増大し、1973年10月には厚木基地爆音防止期成同盟が横須賀市長に申し入を行いました。

その際、代表者は「母港化は横須賀市の自治権の範囲だが、艦載機の厚木基地飛来については横須賀市が責任をもって中止せよ」と訴えました。

空母艦載機の飛行訓練などが繰り返されるなか、「静かな空を返せ」を合言葉に「爆音をなくし平和で静かな空と生活を取り戻す」ため、1976年には厚木基地爆音訴訟に取り組み、これまで過去4度「爆音は違法だ」との判決を勝ち取っています。51年にわたり空母艦載機の爆音解消を求めてきた厚木基地周辺での闘いは、空母艦載機が岩国基地へ移駐した現在も続いており、第五次厚木基地爆音訴訟は昨年11月横浜地裁で結審し、今秋にも判決が出される予定となっています。



厚木基地包囲・人間の鎖(88年)

集会内容

- あいさつ（主催者、来賓、連帯）
- プラカードによるアピール
- 連帯アピール
高校生平和大使
反核・平和の火リレー実行委員会
- デモ行進
(19:00 デモ出発 19:50 終了予定)

【全国の仲間との連携】

私たちは、このような事態を絶対に許してはならず、基地撤去を強く求めなければなりません。

米空軍横田基地や陸自木更津駐屯地を拠点とするオスプレイの低空飛行や訓練反対など県内、関東の仲間との連携を強めるとともに、基地の押し付けと暴力的な弾圧に対峙する沖縄の闘いとも共闘して、全国的な運動へ発展させていくため、多くの仲間みなさんの結集をお願いします。